

平成27年12月17日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成27年度 第1回 三部会合同部会

◆ 12月17日(木)、美しい多摩川フォーラムの平成27年 第1回 三部会合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成27年12月17日(木) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：部会長、副部会長、運営委員、アドバイザー、会員等

◎ 三部会合同部会の概要

1. 開会

2. 部会長挨拶

3. 経過報告 ※はビデオ放映

- (1) 第8回・たまりバー50キロ命名記念・RUN&WALK開催(10/4)【資料1】※
- (2) 「東北・桜サミット」開催(10/27 山形県)【資料2】
- (3) 大田区より第8回・寄付金の贈呈(10/29)【資料3】
- (4) 第7回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催(11月中)【資料4】
- (5) 第8回・多摩川一斉水質調査レポート完成(11/20)【資料5】※
- (6) 多摩川“水”大学講座開催(全6回・11/20 最終回)
- (7) 第1回・「多摩川流域の魅力再発見事業」連絡協議会開催(11/25)【資料6】
- (8) 多摩川カヌー駅伝試走会(12/5)【資料6】
- (9) 第8回・多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/5)【資料7】
- (10) 御岳・冬物語開催(12/11)【資料8】
- (11) 森里川海シンポジウム開催(12/11)【資料9】
- (12) UNWTO(国連世界観光機関)出版物に当フォーラム紹介文掲載【資料10】
- (13) 第2回・「多摩川流域の魅力再発見事業」連絡協議会開催(12/22)
- (14) 東京都・地域資源発掘型実証プログラム事業(多摩川カヌー駅伝等)実施(28.3/5～3/6)【資料6】

4. 意見交換

- (1) 平成28年度事業計画骨子(事務方素案)の主な実施内容について【資料11】
- (2) 多摩川フォーラム設立10周年記念事業(平成29年度)について【資料12】

(3) その他

5. 部会長総括

6. 閉会

1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成27年度第1回三部会合同部会を始めさせて頂きたいと思います。始めに当フォーラムのテーマソングである「多摩川の歌」の普及策の一環として、本日は独唱バージョンをお聞き下さい。

本日はじめて部会にご出席される方をご紹介いたします。

（狛江市 企画財政部 市制施行45周年担当理事 兼 政策室長 小川 啓二 様）

小川と申します。よろしくお願いいたします。

（狛江市 企画財政部政策室 企画調整担当主事 佐々木 淳樹 様）

佐々木と申します。本日はよろしくお願いいたします。

（大田区 環境清掃部環境・地球温暖化対策課 環境推進担当 係長 篠木 伸司 様）

篠木と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

（東京都 森林組合代表理事組合長 木村 康雄 様）

木村と申します。美しい多摩川は、山の整備をしっかりとしないと、美味しい水が作れないと思いますので、今後も山の整備をきちんとしてまいりたいと思います。本日はよろしくお願いいたします。

（青梅市観光協会 事務局長 水村 和朗 様）

水村と申します。4月から事務局長を務めております。よろしくお願いいたします。

（東京急行電鉄株式会社 CSR推進部 環境課 課長 大東 一裕 様）

大東と申します。初めて参加させていただきました。本日はよろしくお願いいたします。

（株式会社ローザ特殊化粧品 専務取締役 角谷 由華 様）

角谷と申します。化粧品の製造業を営んでおりますが、海のもの、地のもの、山のもの、川のものといった自然の素材を自社で抽出して地産地消でやっております。環境を次世代に繋げるために頑張っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。なお、本日は、教育文化部会長の平野副会長が出張により欠席となりました。それでは、薮田部会長、渡邊部会長よりご挨拶をよろしくお願ひします。

2. 部会長挨拶

(薮田部会長)

皆さんこんにちは。昨日は暖かくて今日は非常に寒く、今後ますます寒くなること予想されますが、皆さんには闊達なご意見をいただきたいと思います。美しい多摩川フォーラムは、平成19年7月に創立し、平成28年7月には丸9年になります。平成29年度の10周年にむけて、今日は色々な議論をいただきたいと思います。昨今、色々なことがあり、澤選手が引退表明したこと、COP21で地球温暖化の方向性が決まったこと等もありましたが、私の中では、昨日の米国FRBのイエレン議長の発表が極めて重要だと思っています。もう一年間ロンドンに渡って金利が上がっていくのだらうと思いますが、これが澤選手も含めてグローバルに影響を与えるということですから、我々もグローバルな視点で美しい多摩川を保って行きたいと思っています。

(渡邊部会長)

今年も残すところわずかとなりました。振り返ると、美しい多摩川フォーラムでは沢山の事業が実施されました。これも皆様のご協力の賜物です。環境軸で振り返りますと、青梅・多摩川水辺の運営協議会は、多摩川フォーラム、奥多摩川友愛会、青梅多摩川水辺のフォーラム等4つの団体で構成されており、子どもたちの親水事業を行っておりますが、今年、東京都からボランティア賞の感謝状をいただきました。我々の活動の励みになります。その他、12月5日には第23回全国水環境マップ実行委員会に参加し、北海道から沖縄まで水質調査をやっている団体が上野に集まり、今年の報告を行いました。その中で、来年度以降の取り組みについて、2つの提案がありました。一つ目は、国交省下水道部の橋本さんから、下水道と連携し、下水道を核とした、市民科学育成プロジェクトを進めたいという提案と、二つ目は、現在問題になっている海洋ゴミの7割が川から流出しており、川ゴミネットワークとの連携で、川におけるゴミ問題に取り組みたいというお話でした。第1回川ゴミのサミットが2015年1月13日に開催され、第2回目が2016年1月22日に開催されるそうです。以上、ご報告させていただきました。

3. 経過報告

(事務局)

それでは、経過報告に移ります。その前に事務局より1点ご報告があります。去る

11月10日の運営委員会において、当フォーラムの新しい事務局体制が承認されました。これにより、これまで副会長であった青梅信用金庫森田会長が当フォーラムの専務理事に、森田副会長の後任には、青梅信用金庫平岡理事長が就任しました。一方、これまで事務局長であった宮坂運営委員が当フォーラムの常務理事に、また、宮坂事務局長の後任には私、及川が就任しましたので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、10月の活動部会以降の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししております。まず（1）番、（5）番をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

(2) 「東北・桜サミット」開催 (10/27 山形県) 【資料2】

- ・ 【資料2】をご覧ください。美しい多摩川フォーラムではありますが、東北復興支援も行っております。本日初めて参加される方は良く分からないかもしれませんが、東日本大震災が発生し、地域づくり団体の多摩川フォーラムとして、東北を応援出来ないかと考え、多摩川夢の桜街道プランを東北に適用してスタートしました。当フォーラムと美しい山形・最上川フォーラムを母体に、平成23年12月1日に「東北・夢の桜街道推進協議会」を設立し、現在まで運動は継続しています。東北復興支援は来年で5年になりますが、記憶の風化が進み、東北の方も忘れ去られていると実感されており、復興運動がしばみがちなので、私どもとしては、もう一度気を引き締める意味でも、「東北・桜サミット」を開催しました。【資料2】は、桜サミット当日、来場者に配布した資料で、1ページ目はプログラムですが、大きく3つのことを実施しました。1つ目は、東日本大震災の短編ドキュメンタリー映画「津波そして桜」を上映しました。これは英国の女性監督が制作した映画で、米国のアカデミー賞にもノミネートされた作品です。桜が被災地にいかに希望を与えるかという内容で、我々の運動と軌を一にすることで上映しました。2つ目は、春の桜以外の新たな運動として、秋の新酒のシーズンに、紅葉や温泉を絡めた「東北酒蔵街道」を対外公表しました。3つ目は、メインイベントとして、観光庁や東北6県の幹部にパネリストとしてご登壇いただき、官民広域連携のシンポジウムを開催しました。お陰様で、桜も酒蔵も評判が良かったため、「夏や冬はどうするのか」ということになりますが、夏は「東北祭り街道」、冬は「東北雪見街道」とし、四季折々で東北を盛り上げていきたいと考えています。これらを合わせて「四季感動の東北往還道」といいます。これはインバウンド推進対策にもなっていて、ひとつの季節に来ていただいて感動して

もらえれば、別の季節もPRし、最大で4回来てもらいたいと考えています。サミット終了後は、「東北酒蔵街道」に参加している酒蔵から提供いただいたお酒を、オリジナル・パッケージ商品として販売し、好評をいただきました。次ページは、当日、安倍首相からいただいた応援メッセージのコピーです。祝電ではなく、和紙の台紙に直筆のサインをいただきました。このメッセージをいただけるということは、我々の行っていることが首相の耳に達しているということです。あとの資料はお時間のあるときにご覧ください。

(3) 大田区より第8回・寄付金の贈呈 (10/29) 【資料3】

- ・ 【資料1】と【資料3】をご覧ください。ビデオをご覧いただいたとおり、10月4日に開催された「RUN&WALK大会」には、大田区民有志をはじめ地元の中学生など総勢70名が参加し、大田区の丸子橋をスタートしました。フォーラム事務局も、タスキをつなぎながらゴールの羽村市役所を目指して激走しました。なお、イベント当日に集まった桜の植樹募金202,546円は、10月29日に大田区長室において、大田区長より細野会長に贈呈されました。有り難うございました。

(4) 第7回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催 (11月中) 【資料4】

- ・ 【資料4】をご覧ください。美しい多摩川クリーンキャンペーンのポスターです。第1回目は5団体からスタートし、今年度は28団体が連携団体として名を連ねました。今回は、御岳登山鉄道株式会社様、東日本電信電話株式会社様、株式会社キャリア・맘様、富国生命保険相互会社立川支社様が新たに参加されました。次ページは、11月7日に多摩市一ノ宮公園で開催された事業の実施報告書になります。当日参加された、富国生命保険相互会社立川支社を代表して、梶田課長に一言お願いします。

(富国生命保険相互会社 立川支社 課長 梶田 俊樹 様)

秋晴れの中、総勢60名が参加する中、富国生命は5名が参加しました。河川敷は一見きれいに見えますが、実際に歩いていくと、サイクリングロードにたばこの吸い殻が落ちていたり、土手には空き缶やゴミが多かったり、何より問題なのは、不法投棄のゴミが多かったことです。見えないところに山ほどありました。参加者全員が、両手にゴミ袋を抱えてもまだ足りないくらいのゴミの量でした。こうした活動は必要であると感じましたし、我々も周辺から公衆道徳について発信していきたいなと思いました。今回我々は試験的な参加でしたが、今後も事務局と相談しながら連携して活動を継続していきたいと思います。

(5) 第8回・多摩川一斉水質調査レポート完成 (11/20) 【資料5】

- ・ 【資料5】をご覧ください。6月7日に実施した多摩川一斉水質調査の最終結果報告書がまとまりました。本件につきまして、水質調査に参加された奥山さんに感想をいただいた後、渡邊部会長にご説明をお願いします。

(奥山アドバイザー)

奥山です。私は東京海洋大学で客員教授をしており、専門はサケ科魚類の研究です。多摩川流域の羽村市に住んでおり、今回水質調査に参加させていただきました。先ほど、「河川敷はきれいに見えて実はゴミが落ちている」という話がありましたが、水質調査をすると、川の性格が良く分かります。気がついたことは、意外にきれいに見えても汚れている、あるいは、汚いイメージがあった場所が、意外にきれいだったということが、化学的に証明されることです。私は釜の淵公園で採水をしましたが、近くで釣りをしていた人が天然のヤマメを釣り上げ、魚がいるんだということを再認識しました。この調査を継続し、データを重ねていくことによって良い結果が出てくると思いますので、渡邊部会長が中心となって調査を進めていただきたいと思います。

(渡邊部会長)

水質マップをご覧ください。これは、当フォーラム以外の団体が調査したデータも含んでいます。測定地点数は404地点になります。この調査は8回目となりますが、その目的がマップに次のように書かれています。「市民自らが水環境を調査し、その実態を把握することができ、水環境について考えるきっかけになる。調査した結果に基づいて、必要に応じ水環境の保全・修復の実践活動を行うことができる。子どもたちが調査に参加することにより次世代へ繋げることができる。」以上のとおり、自分で調査して関心を持つことが重要であるということです。資料にCOD測定結果が掲載されていますが、2011年～2014年は、ほぼ横ばいです。2015年は、COD：0～3mg0/L 未満（きれい）が57.2%、3～6mg0/L（やや汚れている）が33.2%、6mg0/L以上（汚れている）が9.6%となっています。

(事務局)

有り難うございました。水質調査結果レポートの次ページをご覧ください。これは、6月に実施した多摩川一斉水質調査の濁度、色度について、まとめた資料になります。資料を取りまとめられた渡邊部会長に簡単にコメントをいただきたいと思います。

(渡邊部会長)

今までCODを測定してきましたが、今年度については濁度と色度の測定も行いました。濁度・色度は、河川の水質基準ではなく、水道水の水質基準にはあります。この基準では、濁度は2度以下、色度は5度以下となっています。まず濁度については、調査地点1～4 5番までは2以下となっています。色度についても、調査地点1～4 4番までは5以下となっており、濁度の結果とほぼ同じになっています。下水処理水が入ってくると、濁度・色度の値が共に大きくなってきます。

(6) 多摩川“水”大学講座開催 (全6回・11/20 最終回)

- ・ 5年目となる今年度は、八王子市様との共催のもと、5月22日に開講しました。引き続き小倉副会長に講師をお願いし、水環境に関するリーダーの養成を目指しました。なお、第5回目となる来年度は、府中市での開催を目指して検討を始めたところです。本件につきまして、八王子市水環境部の守屋課長より一言お願いします。

(八王子市 水環境部 守屋課長)

今年度の講座は、八王子市北野町にある「あったかホール」で開催されました。地元で開催されることもあり、水環境部の職員が全6回を受講し、終了証書をいただきました。基本的なことから多岐にわたって教えていただき、大変ためになったと申しております。今後も、こういった機会があれば、積極的に参加し、地域の魅力を高めて健全な水循環の再生に取り組んでいきたいと思っております。

(7) 第1回・「多摩川流域の魅力再発見事業」連絡協議会開催 (11/25) 【資料6】

(8) 多摩川カヌー駅伝試走会 (12/5) 【資料6】

- ・ (7)の議事録、(8)の試走会につきましては、【資料6】をご覧ください。多摩川カヌー駅伝の事業ですが、これは当フォーラムの単独事業として計画されていたものではなく、年度途中の飛び込み案件で、東京都の主催事業です。東京都では、2020年に向け、魅力ある地域資源を発掘する事業をしたいということで、企画公募を行いました。複数市町村にまたがる取り組み案件はなかなか出てこないことから、当フォーラムに何かいい案はないかとの打診がありました。当事務局では、日頃あためていた「カヌー駅伝」および「奥多摩地域の文化、酒蔵を巡る旅」ということで、一言で言えば、カヌー駅伝とその地域を巡るモニターバスツアーという2本柱の事業を、6市(青梅市、羽村市、福生市、昭島市、あきる野市、八王子市)の推薦のもと立候補しました。幸い合格し、連絡協議会を立ち上げ、早速内容を詰めているところです。本件は東京都主催ですが、J T

Bさんが受託先となり、当フォーラムの立ち位置は企画になります。いずれにしても、当フォーラムとして非常に取り組みがいのある案件であり、後ほど皆さんにご相談しますが、この案件が上手くいくようであれば、10周年記念事業として発展させていければ良いと思っています。本件につきまして、受託先のJTBさんにお話を伺い、次に代理店のアルピンさんから実施についてご説明をお願いします。

(JTB 加藤課長)

この案件は、東京都が3年前から実施している、地域をいかに魅力づけしていくかという案件です。複数の市をまたぐ案件は、昨年、一昨年と1件ずつあり、そのうちの1件は大島+調布市の連携で、大島の産品をいかに都市に持って来るといふ実証実験でした。しかし今回のような6市連携の事業は初めてで、東京都も大変期待しています。事業の目的は、多摩川をいかに魅力的に発信していくかです。JTBでは、当フォーラムの運営委員としての考えのもと、フォーラムの企画案をベースに実施計画を策定し、提出いたしました。その結果、東京都から認められ、弊社で受託することができました。事業の内容は、3月5日～6日の2日間で、多摩川でカヌー駅伝を開催し、モニターツアーも同時開催し、ツアー参加者に多摩川の魅力を経験、発信してもらいます。ツアーではカヌー駅伝を観戦していただくほか、平野副会長による「語り」を鑑賞し、小澤酒造さんの酒蔵を見学していただき、多摩の産品等も召し上がっていただく予定です。この事業を通じて、多摩川周辺の魅力を発信していきたいと考えております。また、皆さんからご意見をいただき、より良い内容にしていきたいと思っておりますので、何かありましたらご指導ください。よろしくお願いいたします。

(アルピン(株) 統括部長 吉澤 みゆき 様)

私どもは、JTBさんと一緒に今回の企画を運営しております。先ほどお話がありました、今回の事業の連絡協議会を立ち上げ、先日、全体会議を実施し、協議会のメンバーでもある6市さんからご意見をいただいているところです。カヌー駅伝大会は3月5日に実施し、1チームで4人の方にリレーしてもらいますが、中継地となる堰にも焦点をあて、堰の歴史等も伝えたいと考えています。スタート地点である青梅市・釜の淵公園と、ゴール地点の昭島市・くじら運動公園では、地域の皆さんに楽しんでもらえるようなイベントを考えておりますので、皆さんからお知恵をいただきたいと思っております。12月5日に青梅市カヌー協会さんにご協力をいただき、スタート地点からゴール地点までの試走会を実施しましたが、初めて見るカヌーに感動したのはもちろん、川の水のきれいさに感動しました。カヌーを通じて多くの人に多摩川の良さを伝えていきたいと思いま

すので、よろしくお願いいたします。

(9) 第8回・多摩川子ども環境シンポジウム開催 (12/5) 【資料7】

- ・ 【資料7】をご覧ください。今年も、新たに参加の1団体を加え、12のグループが発表を行いました。司会も発表も子どもたちが行うこのシンポジウムでは、今年も多くの感動をいただきました。本件につきましては、山崎教育文化副部長に一言お願いします。

(山崎教育文化副部長)

当日、子どもたちのコーディネーターを務めました。毎年発表内容がレベルアップしています。個人の発表から、学校や地域単位での発表もあり、自由な発想で発表が行われました。今回で8回目となり、10回目に向けて何かできたら良いと考えております。法人会員さんで、子どもたちのサークル等があるようでしたら、是非参加をお願いします。

(10) 御岳・冬物語開催 (12/11) 【資料8】

- ・ 【資料8】をご覧ください。平野さんとお弟子さんたちが多摩の各地域を訪れて調査し、まとめて冊子にしたものを、暗誦して語りを行いました。お弟子さんたちは70代～20代と幅広く、一人、あるいはグループで語りを行いました。参加された方のアンケートを見ても、非常に評判が良かったです。今後、「多摩の物語」をどのように広めていけば良いのか、後ほどご意見をいただきたいと思えます。

(11) 森里川海シンポジウム開催 (12/11) 【資料9】

- ・ 【資料9】をご覧ください。12月11日、羽村市生涯学習センター「ゆとろぎ」において、環境省主催の「森里川海シンポジウム」が開催され、基調講演には小倉副会長がご登壇されました。また、パネルディスカッションでは、当フォーラムからコーディネーター役として小倉副会長、パネリストとして、ダニエル・カール副会長が出席されましたので、ご報告させていただきます。

(12) UNWTO (国連世界観光機関) 出版物に当フォーラム紹介文掲載 【資料10】

- ・ 【資料10】をご覧ください。本年3月の運営委員会で紹介させていただきましたが、このたび、UNWTOの出版物に薮田部会長執筆による当フォーラムの活動紹介英文が掲載されましたので、ご報告いたします。本件につきまして、薮田部会長に一言お願いします。

(藪田部会長)

細野会長からの紹介で、このフォーラムに入会しましたが、理解を深めるために、当フォーラムの活動内容について勉強しました。たまたま私の友人がUNWTOの関係者で、「UNWTOでPPP（官民広域連携）に関する活動について調べているので執筆してくれないか」とお誘いを受けたので書きました。多摩川夢の桜街道と多摩川酒蔵街道について少し紹介させていただきました。今後も何かあれば、積極的に紹介させていただきたいと思います。

(事務局)

有り難うございました。以上で経過報告を終わります。藪田部会長、よろしくお願いいいたします。

(藪田部会長)

有り難うございました。何かご意見、ご質問などありますか。

(小澤運営委員)

カヌー駅伝についてですが、上手く広報ができれば大変多くの方に興味を持っていただける企画だと思います。これをどうやって市民の皆さんや一般の方にお知らせするのでしょうか。実際の広報はどのように行われるのでしょうか。

(事務局)

6市の推薦のもとで進めているので、6市が後援となり、市の広報等でPRしてもらう予定です。駅伝参加者については、6市対抗にする予定で、当初の運営上のリミットは30チームで考えておりますが、6市の広報で皆さんが応援に来てくれば有り難いです。スタート地点とゴール地点では商工会等に加わってもらってイベントを開催し、地元産品を販売したいと考えています。広報についてお知恵があれば是非いただきたいと思います。

(藪田部会長)

これからのイベントですので、何かアイデアがあれば事務局にご連絡ください。カヌーは、競技用と趣味用で違うのでしょうか。

(事務局)

競技用は超軽量で流線型の度合いが強いのですが、今回は記録会のような駅伝ではなく、場所によっては水深が浅く、カヌーを担がなければならない場合もあるので、カヌーの形にはこだわっておりません。

(薮田部会長)

有り難うございました。他にご質問やご意見はありますか。

(石黒 様)

カヌー駅伝は、着地型の旅行商品を目指していると思いますが、アルピンさんは、この地域の企業さんですか。

(事務局)

本社が神田にある、民間の広告代理店さんです。当フォーラム立ち上げ時からお世話になっています。

(石黒 様)

大変結構です。是非青梅市に支店を作っていただき、着地型を進めていただきたいです。先日、渋谷の展示会を見に行ったら、JTBさんが全国で着地型の旅行を推進するサポートを始めているという話がありました。利益の半分を地元にとすには、地域密着型の観光会社をしっかりと作っていくことが重要だと思います。6市だけではなく、多摩川流域の都市が大手の旅行代理店さんと連携して、着地型の観光を進めてほしいと思います。大手のノウハウと地元の人脈や知識を持った人が連携して地域密着型の観光を推進してもらいたいです。

(薮田部会長)

中長期的な観点からのご意見、有り難うございました。他に何かありますか。

(藤井 様)

高尾山は良くテレビに出ますが、それよりも魅力のある御岳山が何故目立たないのでしょうか。PRに対する姿勢が足りないのではないかと思います。高尾山が有名になったきっかけは、ミシュランガイドで3つ星を取ったからです。海外では富士山と同格で紹介されます。御岳山も、1つ星からチャレンジし、10年計画で3つ星を獲得する努力をすれば、大変人気が出てくると思います。

(薮田部会長)

こちらの中長期的な観点からのご意見、有り難うございました。次の意見交換では、来年の話をしたいと思います。はじめに事務局の方から説明してください。

4. 意見交換（副部会長）

（１）平成２８年度事業計画骨子（事務方素案）の主な実施内容について【資料 11】 （事務局）

【資料 11】をご覧ください。経済、環境、教育文化の柱毎にまとめています。来年度については、新規事業はございません。既存の事業のやり方を見直し、さらに発展させていくことに主眼を置いています。こちらについて、皆様から忌憚のないご意見をいただきたいと存じます。

（藪田部会長）

それでは、既存の事業について、ご質問やご意見がありましたら、お願いします。まずは、「多摩川酒蔵街道」について、小澤運営委員より一言お願いします。

（小澤運営委員）

西多摩には酒蔵が５蔵あり、「酒の都」と言えなくもないと思います。なんでもそうですが、キャッチコピーが付くと、急に興味を持ってくださいますので、そういった意味で「多摩川酒蔵街道」という名前を付けていただいたのは有り難いと思います。今までは見過ごしていた多くの方が、「多摩川周辺に酒蔵が沢山ある」ことを認識してくれるようになり、ひょっとすると、地域の文化的価値に繋がるかもしれません。田舎は景色が良い、環境が良いと思いがちですが、かつて人間が創り上げた文化的価値が潜んでいるんだということを伝えていただくと、単なる田舎ではなく、文化的な田舎になります。今年も１１月は、はとバスさんがお客様を沢山連れてきてくれ、お酒を沢山召し上がっていただきました。次回も是非よろしくお願いします。

（藪田部会長）

有り難うございました。次に、「“美しき桜心の物語”の語り会」について、大田観光協会の栗原事務局長より一言お願いします。

（大田観光協会・栗原事務局長）

平野さんの「“美しき桜心の物語”の語り会」ですが、５年前にも大田区の池上本門寺で開催しました。来年４月は、六郷用水の近くにしだれ桜が美しいお寺があり、そこでの開催を予定しています。多摩川の最下流で、水質は上流に比べてやや劣りますが、きれいな場所は沢山ありますので、これからも頑張っていきたいと思います。

（藪田部会長）

有り難うございました。次に、水質調査の位置情報について、渡邊部会長より一言お願いします。

(渡邊部会長)

水質調査は75地点で実施していますが、採水はかなり大変な作業です。事務局は、採水者に採水場所を指示するのですが、Google マップを使用して指示したらどうかという提案です。Google マップの航空写真は精度が高く、パソコン以外にもスマートフォンでも見ることができるので、若い方でも見やすいと思います。マップには、水質データも入力することができます。Google マップの「マイマップ」を利用して、水質だけではなく、多摩川夢の桜街道や多摩川酒蔵街道にも応用できるのではないかと思います。

(藪田部会長)

有り難うございました。確かに、情報の共有だけではなく、広報にも使えますね。次に、狛江いかだレースについて、狛江市の小川さんから一言お願いいたします。

(狛江市小川理事様)

狛江市は、全国の市の中で、埼玉県蕨市に次いで2番目に小さい市で、6.3km四方しかありません。そんな中、狛江市最大の魅力であり資源なのは多摩川です。この多摩川を活用しようと、平成2年に狛江市制20周年を記念して、いかだレースを開催しました。今年で25回を迎え、24自治体から89チームが参加し、盛況となりました。多摩川フォーラムからはダニエル・カール副会長が参加し、狛江市長と一緒にいかだに乗って、多摩川フォーラムのPRもしていただきました。2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、その年は狛江市制50周年を迎え、いかだレースは30回を迎えます。偶然ではありますが、5年後の大きな節目に何ができるか、現在検討しており、この点からも、多摩川フォーラムさんとますます連携を強化し、皆さんと多摩川をPRできれば良いと考えておりますので、よろしくお願いたします。

(藪田部会長)

有り難うございました。平成2年に始まった大会が、今年は24の自治体から参加するまで大きくなったということですが、それまで大変なご苦労があったかと思えます。参加者は自然に増えていったのですか？何か特別な広報をされたのでしょうか。

(狛江市小川理事様)

第2回大会から、読売新聞社さんにご後援いただき、参加チームの募集や大会結果を掲載してもらっています。また、誌面だけではなく、折り込み広告に無料でPRさせていただき、隣町の調布市さんにも配布してもらっています。新潟県や山梨県などの都外の方々の参加者もいらっしゃいますが、その方たちの口コミでも広まっている

と感じています。

(藪田部会長)

ロコミで広まるというのは、地域の優位性だと思います。一般的に、単純接触効果と言うそうですが、単純なことを繰り返し発信していくと、触れた側は、自然と日常的にそれが刷り込まれていき、そういう行動をしてしまうそうです。私も、ある朝のドラマで流れる曲が、最初は変な歌だと思っていたのに、聴いているうちに名曲だと思えるようになりました。

さて、次に進めます。多摩川フォーラム設立10周年記念事業（平成29年度）について、事務局から説明をお願いします。

(2) 多摩川フォーラム設立10周年記念事業（平成29年度）について【資料12】

(事務局)

【資料12】をご覧ください。これまでの3つの部会や運営委員会での意見を纏めたものになります。ご参考までにお配りさせていただきましたが、本日も積極的な意見交換を希望しますので、よろしくお願ひいたします。

(藪田部会長)

有り難うございます。多摩川フォーラムも、やれる事とやれない事があります。物理的・人的・資金的なキャパシティがあります。「10周年には間に合わないけれど、将来的にはできる」というものも合わせて、ご意見をいただければと思います。

(岡崎様)

10周年に直接結び付けば有り難いのですが、今日、読売新聞多摩版に、青梅市梅郷のことが掲載されていました。梅が無くなり、客集めが大変だそうです。多摩川フォーラム事務局は青梅にあるので、梅郷をサポートできる事業を考えたらどうでしょうか。

(藪田部会長)

有り難うございます。他にご意見はありますか。

(澤渡様)

アユの釣り人として発言します。多摩川はアユの釣り人が非常に少ないです。原因は、釣り人のための道路が無い事です。一方、相模川は、釣り人が川に近づきやすい道路や駐車場を完備しています。入場券売り場も50軒くらいあります。多摩川フォーラムは、主人である多摩川を考えず、川に付随したものに目が行っています。釣り

人がいない川は、川ではありません。多摩川には、複数の漁協があるので、それらをまとめるチームを作ることが必要です。相模川を参考にさせていただきたい。しかし、水質は相模川や他の河川よりも多摩川のほうが良いです。机上の考えではなく、一度川に足を入れてから考えていただきたい、多摩川と遊んでいただきたいと思います。

5. 総括・閉会（部会長）

（藪田部会長）

本日は、極めて重要な、中長期、あるいはすぐにできそうな意見をいただきましたので、事務局でまとめさせていただきます。今年度については、平成28年2月25日（木）に第2回三部会合同部会を開催します。最後に渡邊部会長から一言お願いします。

（渡邊部会長）

長時間にわたり、色々なご意見をいただき有り難うございました。来年度も今年度と同じような事業計画がありますので、ご指導のほどよろしく願いいたします。それでは、第1回三部会合同部会を終了します。有り難うございました。

以 上